



会報

No. 7 (第 1560 回) 2021 年 9 月 8 日 (水) 12:15~

第 2820 地区 新井和雄ガバナー 地区スローガン “Think Globally Act Locally”
(地球の未来を思い地域社会に貢献しましょう)

2021-2022 石井秀明会長スローガン 「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」

本日のプログラム

- ◆ 卓話 「海岸美化プロジェクト」について
浅川清司社会奉仕委員長
伊藤幸司ガバナー補佐 (Zoom)
- ◆ フォーラム 「35 周年事業について」
浅川清司実行委員長

9 月 1 日例会報告 (第 1559 回)

◆ 今月のお祝い

【会員誕生日】: 中井英一郎会員、高阪裕二会員、鶴田哲男会員

【ご夫人誕生日】: 清宮武雄会員、橋本和一郎会員、大久保賢二会員



(写真左から石井秀明会長、高阪裕二会員)

◆ 新入会員卓話

◆ 木村 正人 会員

私共の会社は、茨城港における港湾管理者の補完的役割を担う第3セクターです。

- 業務としては
- ① 港湾警備や港の巡視などの港湾管理事業
 - ② バース調整やタグボートによる船舶の接岸作業などの港湾業務事業
 - ③ クレーンやトラクターヘッドなどの貸出を行う港湾施設賃貸等事業
 - ④ 大型商業施設や住宅展示場の土地貸付などの都市づくり推進事業
- を実施しております。

本日は、茨城港常陸那珂港区の概要をお話しさせていただきます。



戦前戦後のひたちなか地区 その後の開発構想

○戦前は陸軍-水戸東飛行場(国有地-私有地)を買収。
○戦後は米軍及び自衛隊駐屯地から返還地へ。
1973(43)年に約1,200haの広大な敷地が日本国へ返還。国有地へ。

1938(S13).12~1946(S21).6
水戸陸軍飛行学校の航空写真(昭和14年)

1946(S21).6~1973(S48).3
米空軍の水戸射撃場跡として利用

○開発構想づくりは返還以前から始まる。
○「新全国総合開発計画(新全総)」で初めて「港湾」が位置づけ。
○返還後の利用計画は、県が大きな港湾と大きな公園でまとめる。
○「国営港湾公園都市構想」が発表(1988(S60)年)。



547 水戸陸軍飛行学校の航空写真(昭和14年)



△1969年(S44.5) 「新全国総合開発計画(新全総)」が閣議決定
△1973年(S48.3) 水戸射撃場跡地を返還して日本に返還
△1976年(S51) 返還地の利用に関する基本方針(3分新方針)→①国 ②地方自治体 ③留保地
△1977年(S52) 官営公園計画決定(茨城空港、北関東道、公園、工業団地の位置づけ)
△1981年(S56) 国土地の活用促進法成立
△1984年(S59) 国営常陸海浜公園 着工
△1985年(S60) 「国営港湾公園都市構想」発表
△1988年(S63) 留保地利用了承(区画整理事業、工業団地造成事業)
△1989年(H元) 洗滌着工、区画整理事業、工業団地造成事業の着手



548 水戸陸軍飛行学校の陸軍航空写真(昭和18年)






出典:市報ひたちなか

戦前戦後のひたちなか地区 その後の開発構想

○「国営港湾公園都市構想」の理念は、「ビジネス&レジャーの実現」、都市づくりの目標は「質の高いライフスタイル拠点の形成」「次世代型ビジネス拠地の形成」「美しい都市公園の形成」
○都市、レジャー、産業、港湾の4つのゾーンから構成されるひたちなか地区のマスタープランが示され、各事業が具現化へ。
○予算規模は約1兆円が見込まれる。


○国営公園は全体350haの内、200haが開園。年間を通じ美しい花木で入園者に人気。ネモフィラ、コキアは人気で、「死ぬまでに行きたい絶景」にも認定。
○年間入園者数は令和元年度で約229万人と5年度連続で200万人を突破。外国人観光客も多く、ロックインジャパンフェスティバル等、幅広いイベントにも利用。




ひたちなか地区マスタープラン
【1988(S60)年】

ひたちな海浜公園入場者数


年度	入場者数(万人)
H21	149.7
H22	145.9
H23	99.6
H24	123.8
H25	148.3
H26	176.8
H27	213.7
H28	207.8
H29	227.8
H30	229.5
R1	229.0



「死ぬまでに行きたい絶景」ネモフィラの丘



コキア



ロックインジャパンフェスティバル

港湾ゾーン ～常陸那珂港区の港湾計画～

○1983年(昭和58年)に港湾計画が策定され港湾ゾーンの整備を開始。コンセプトは「京浜港を補完する港」
① 東京湾(京浜港)への過度の集中を緩和(船舶の混雑や交通渋滞の解消)
② 荷物のコンテナ化への対応

交通の渋滞 東京港近郊の混雑状況



船舶の混雑 東京港コンテナターミナル



解消





港湾計画イメージ

出典: 茨城県那珂市



5



6



7

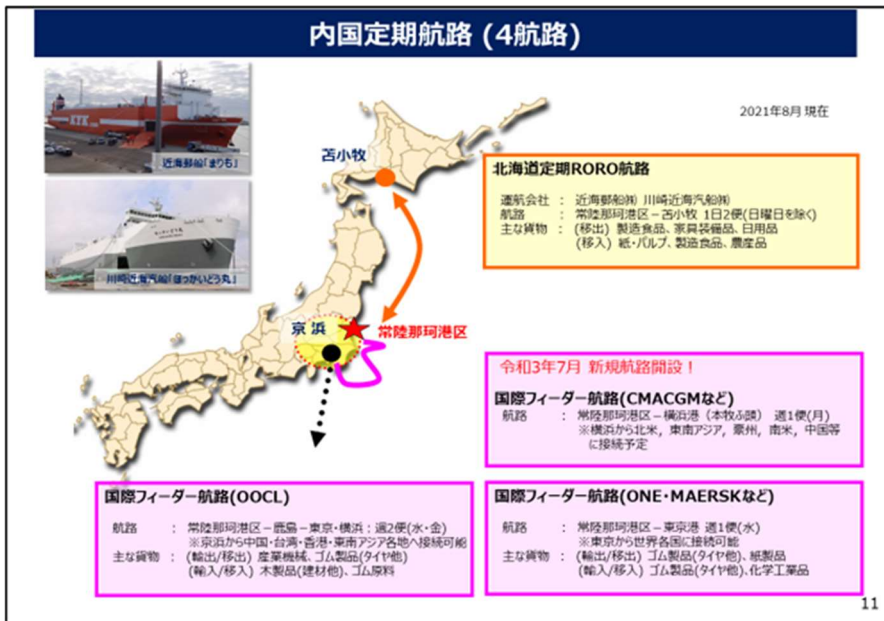


北米向け完成自動車の常陸那珂港区利用

○ 2016年(平成28年)11月28日から北米向け完成自動車輸出を開始
 ○ 輸出経路: 群馬県太田市⇒常陸那珂港区⇒北米(西岸・東岸各港)

	利用開始時期	面積	収容可能台数
I期	H28.11.17~	12.0ha	約6,000台
II期	R2.7.1~	10.8ha	約6,500台
計		22.8ha	12,500台

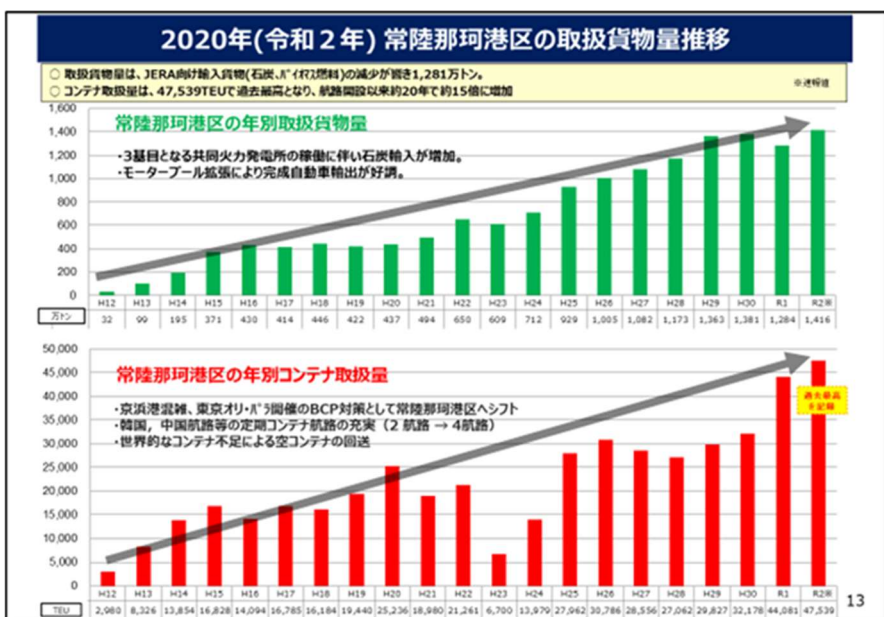
令和2年度 輸出取扱台数 約20万台



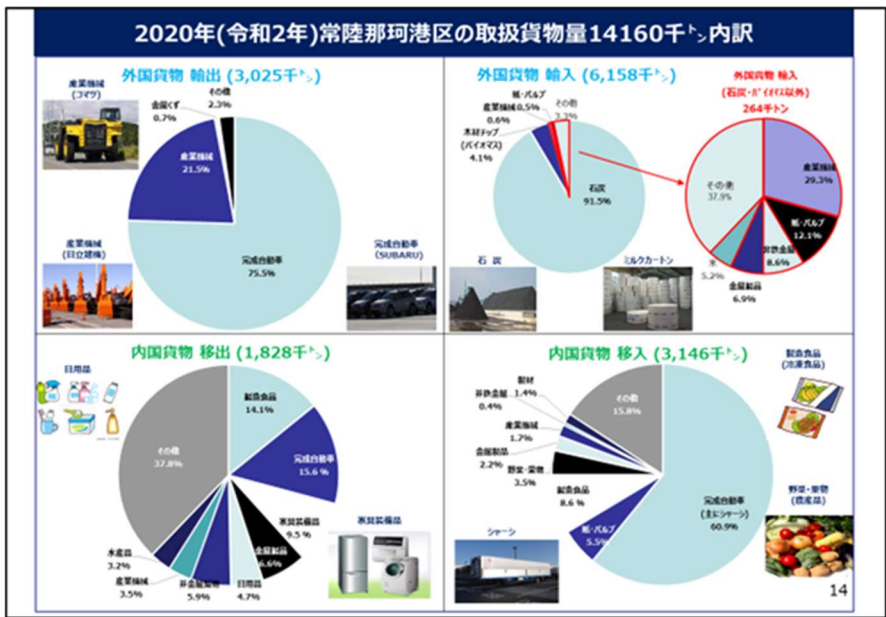
11



12



13



常陸那珂港区へのクルーズ船の寄港

『飛鳥II』

- 国内最大のクルーズ船「飛鳥II」が寄港
 - 2016年 1隻 (9月【初寄港】)
 - 2017年 1隻 (9月)
 - 2019年 4隻 (3月、5月、10月)
- 船社企画のオプションツアーを実施
 - ひたち海浜公園散策・大洗方面【水族館・マリン】
 - 水戸徳栄園と弘道館・霞田の海と電神大吊橋 など
- 寄港歓迎イベントを実施
 - 入出港セレモニー(マシーングラン等)/建設機械・鉱山機械の展示
 - 観光物産フェア(飲食・物販・観光PR等)/市民向け船内見学会

【船名】
飛鳥II
【総トン数】250,000トン
【乗客数】2,400名
【乗組員数】472名

『セブンスマリナー』

- 2019年4月28日(日)に豪華外観クルーズ船「セブンスマリナー」が初寄港
 - 本県への外国クルーズ船の寄港は初
- 運航船社
 - 運航会社：リージェント・セブンス・クルーズ社(アメリカ)
 - アジアへアジア探検の旅19泊
- 船社企画のオプションツアーを実施
 - 徳栄園と笠間協同/徳栄園と弘道館/おさかな市場&ひたち海浜公園 など
- おもてなしイベントの実施(外観クルーズ船受入実行委員会)
 - 飲食物販ブース/日本文化体験ブース/ステージパフォーマンス
 - 建設機械・鉱山機械の展示/1BS茨城放送による現地公開生放送

【クルーズ船の現状】

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、全世界のほとんどのクルーズ船運航が取りやめとなり、現在(令和3年7月末)も休止状態が続いている(令和2年度の本県港へのクルーズ船寄港も全てキャンセルされた)。業界の動きとしては、郵船社のクルーズは9月からの再開が予定されているが、やはり感染拡大の状況次第であり、外国クルーズに差をつけて、再開時間の見通しが立っていない状況である。

◆ 高阪 裕二 会員

・この度は、新入会員として卓話の機会を頂き、ありがとうございます。

・私の勤務先はニュークリア・デベロップメント株式会社と申します。私の前任の伊藤氏は長年この東海那珂ロータリークラブにお世話になりましたが、今年社を完全にリタイアされ、それに伴い伊藤氏より後を頼むとバトンを渡されたところです。

・伊藤氏は私が尊敬する先輩であります。果たして伊藤氏のようなクラブへの貢献ができるか甚だ心配なところもございますが、一生懸命活動に参加させて頂きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



・本日は私の職場であります当社の概要と、その中で私が主に担当していた仕事の一部のご紹介、そして時間が許す範囲でプライベートな自己紹介をさせて頂こうと思います。

・当社は地図でお示ししますように、少し内陸側に入った国道 6 号沿いに位置し、同地にあります三菱原子燃料(株)さんと、フェンスを隔てたお隣にあります。

・三菱原子燃料さんでは、国内の原子炉で使用する原子燃料を製造しておられますが、当社ではそのような原子燃料について、原子炉で使用する前後における研究開発を行う施設を有しており、同じ三菱グループの原子力分野で一体となって、原子力事業の一翼を担っております。

・鳥瞰写真にありますように、当社施設は幾つかの建屋で構成されておりますが、この写真にある施設が当社のほぼ全ての施設となります。

・写真中、一番手前（下）にある建屋が事務建屋ですが、それ以外は試験等を行う施設になっています。特に当社は、核燃料物質や放射性物質を取り扱うことができる施設を有し、安全にこれら放射性物質等を使用した試験や分析等ができることが特徴です。

・簡単に当社の来歴をご紹介します。

・当社の起源は、昭和 34 年の三菱グループで原子力事業に着手した時期まで遡ります。このころに MAPI 原子力開発センターを設立し、研究開発に着手しましたが、このころはまだ茨城地区には拠点がありませんでした。

・その後昭和 47 年に、三菱重工の東海試験場が設置されたのが、東海の地での拠点の始まりとなります。ちょうどこの頃は、国内で商業用原子炉（PWR では美浜一号機）の稼働が始まった時期であり、これら原子炉の照射に伴う材料の性質変化を継続的に調査研究するため、材料試験場として東海村に建設されました。

・その後も原子燃料や材料等の研究するための施設が東海に設置され、平成 2 年にそれらを統合する形で、ニュークリア・デベロップメント株式会社（当社）が設立され、今日に至っております。

・当社では主に商業用原子炉で使用します、原子燃料に関する研究開発を行っております。

・加圧水型原子炉の一番中心にあります原子炉圧力容器の概略図を、内部を切り取って見える形で示していますが、中心の赤い部分にあるのが原子燃料です。この中にウランが含まれて核分裂によって発熱を行います。

・この原子燃料の部分拡大した図を右側にお示ししています。これは燃料集合体と呼ばれ、複数の燃料棒を束ねた構造になっていて、凡そ 4 m 程の高さです。

・この燃料棒には、ペレットと呼ばれるウランを含んだ小指の先ほどの大きさをしたセラミックスの塊が積重ねて充填されています。

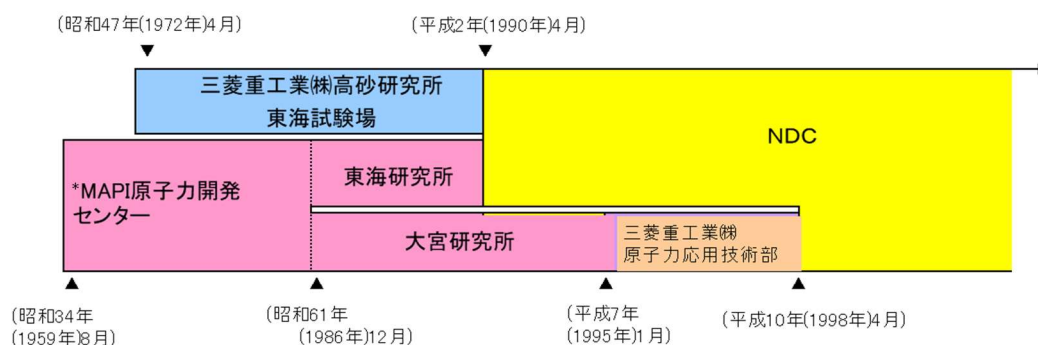
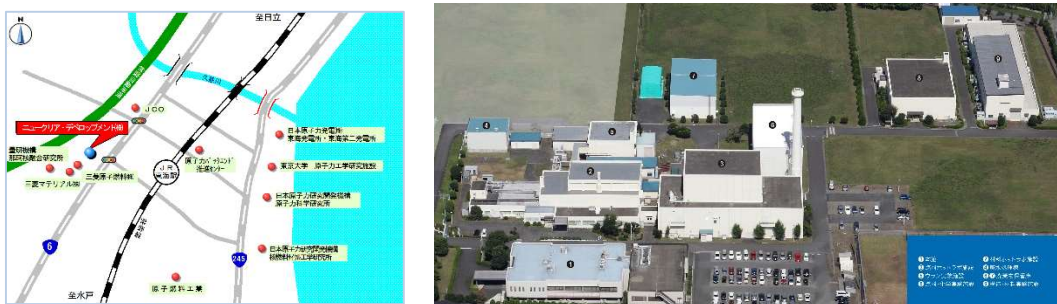
・当社ではこれらの原子燃料について、主に燃料・材料に関する研究開発を行うことが、主要業務の一つです。

・燃料ペレット部分の横断面の概念図と、その中の温度の分布の概念図を図に示しています。燃料ペレットの中でウランが核分裂して発熱しますので、燃料ペレットの中心部は非常に高い温度になります。

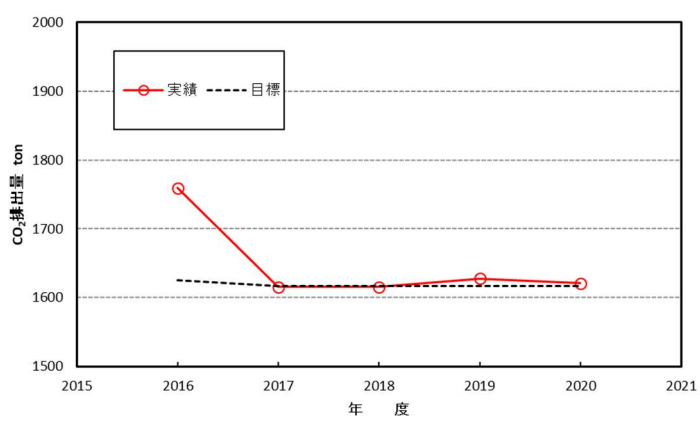
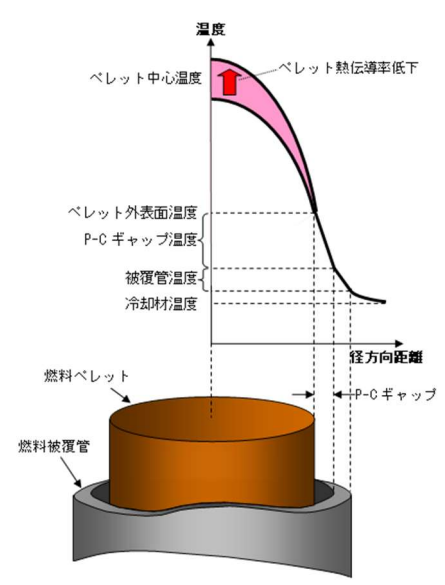
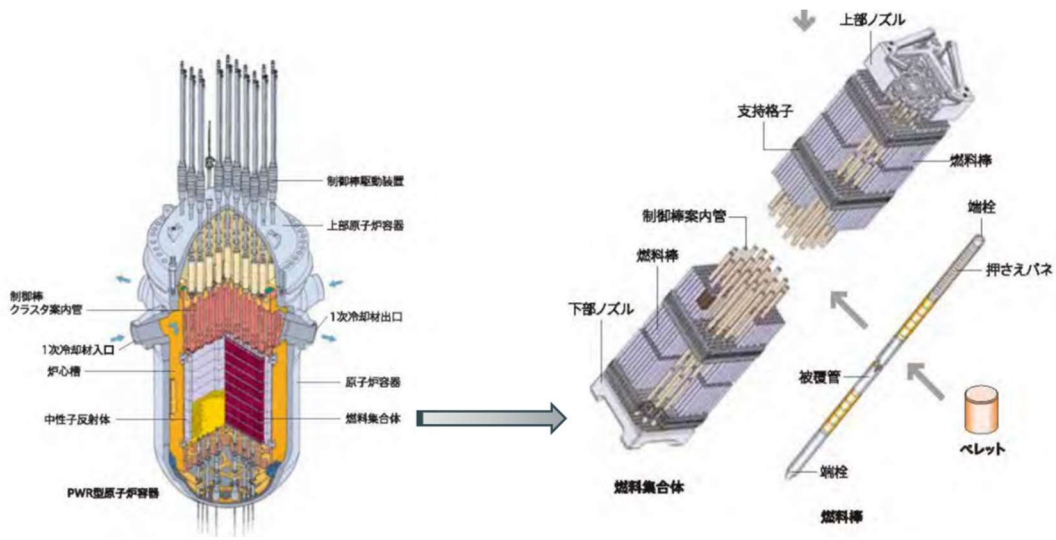
・燃料の中の温度を正確に知っておくことは、原子炉を安全に運転する上では大変重要な事項の一つです。

・燃料ペレットの中心の温度を知るには、燃料ペレットの熱伝導率が重要な物性なのですが、この熱伝導率は燃料ペレットの使用（照射）期間が長くなるにつれて徐々に変化することが知られています。そのため、ペレット中心の温度が、使用期間が長くなるにつれて徐々に高くなる傾向となります。

- ・私の仕事における主要な研究テーマの一つとして、この熱伝導率の変化に係る研究があります。しかし、現在は一線からは退き、正確には「ありました」と過去形が正確なところです。
 - ・現在の仕事としての一例では、環境活動があります。
 - ・当社における CO₂ 排出量推移を図に示しています。当社の環境活動の中の一つとして、このような排出量について毎年目標を立て、実績をフォローすることにより、排出量の削減に向けた活動の推進役を担っております。
 - ・この図でも分かるように、最近では排出量の削減が頭打ちで、将来のカーボンニュートラルに向けた削減のため、新たな施策を模索する必要に迫られているところです。
 - ・以上が、大変雑駁ではありますが、私の職場と仕事の一部のご紹介です。残りの時間が許す範囲で、私自身のプライベートな自己紹介をさせていただきます。
 - ・生まれは昭和 32 年で、今年 9 月で間もなく 64 歳となります。
 - ・出身は名古屋ですが、学生時代に暫く東京に在住した後、就職して埼玉に 3 年ほど居ましたが、昭和 61 年東海村に転勤を命じられ、以来約 35 年間茨城に住みついています。
 - ・好きなスポーツは、サッカー/バスケットなど、観るのもやるのも好きですが、最近では体が思うようにならなくなって、活動は少なくなっています。
 - ・他にも、山歩きやサイクリングなども時々しており、基本的に体を動かすことが好きです。
 - ・また趣味でバイオリンを弾き、茨城交響楽団に所属して主に水戸で活動をしております。
- 以上です。ご清聴ありがとうございました。



*MAPI: 旧三菱原子力工業(株)



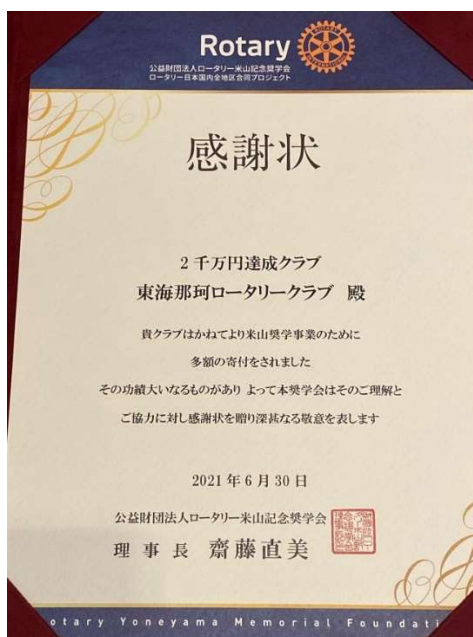
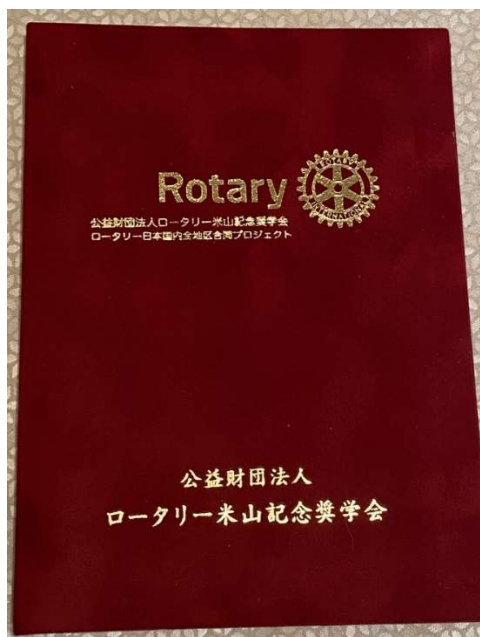
◆ 幹事報告

報告者：島田智和幹事

- 国の非常事態宣言に伴いまして集会等が自粛となっております。従いまして、下記のように対応します。
 - ・今年度中の非常事態宣言等期間については適用する。(ハイブリット型例会)
 - ・理事会に関しましては随時持ち回とする。
 - ・期間解除までは会長・幹事・SAA・事務局は会場参加とし、他会員は zoom 例会とする。
(卓話担当の会員は zoom 及び会場参加は各自判断ください)
(zoom 設備が無い会員や会場参加を希望される方は自己判断にてお願いします)
 - ・ニコニコ、出席に関しては幹事が報告し取りまとめは各委員会にお願いする。
 - ・会場に参加される会員は前日までに事務局に連絡をしていただく。(昼食準備の都合)

例会スケジュールについては以下の通りまとめました。

- ・例会開始 12:15 分～
- ・会長点鐘 12:15
- ・各報告 ～12:25
- ・卓 話 ～12:55
- ・食 事 ～13:20(会場参加者)
- 「米山奨学金」の支給に関して。
※本来第1例会にての支給ですが、非常事態宣言期間に関しては、振り込み対応も可とする。
(奨学生においては必要不可欠な収入であると考え、遅延のない支援をしていくため)
- 「地球環境美化プロジェクト報告会」会費が承認されました。(会長出席)
※10月16日(土) ダイヤモンドモール(返金対応可)登録料 10000 円
- 「東海まつり打ち上げ花火の協賛」が承認されました。
※協賛金 1 口 10000 円
- ロータリー米山記念奨学会より寄付金2千万円達成の感謝状が届いております。



◆ 出席報告

報告者：木村正人委員

2021年9月1日例会

会員数	出席免除者数	対象会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
37	5 (内出席2名)	34	29	5	85.29%

出席免除者 (敬称略) ; 下線は例会出席

清宮武雄、中井英一郎、大部泉、瀬谷利雄、高橋昭

◆ ニコニコボックス

報告者：島田智和幹事

『よろこびの言葉』

◆ 石井 秀明

高阪会員、木村会員 卓話宜しく願います。

◆ 伊藤 幸司

木村様、高阪様 本日の卓話楽しみです。Zoom でやりにくいてしょうが、宜しく願致します。

◆ 佐藤 広道

SA 大森会員の代打です。よろしく、願います。

◆ 木村 正人

本日は卓話の機会を頂き、ありがとうございました。

(以上4名)

◆ 委員会報告

◆ 広報・史料委員会

報告者：田中宏和委員長 (Zoom)

○ 「ロータリーの友」9月号の記事紹介

- ・ 横書き P7～ リテラシーがもたらすもの

9月は「基本的教育と識字率向上月間」です。リテラシーとは、もともとは書かれた言葉を正しく読み書きできる力を意味していました。しかし今では、文章に限らずマークや記号、分野ごとの専門的な単語を正確に理解する力も含むようになっていきます。記事では様々なリテラシーについて紹介されていますので是非ご一読ください。

- ・ 「ロータリーの友」電子版について

「ロータリーの友」9月号の冊子は、例会場の皆様のボックスに入っていますが、Web 上でも閲覧することができます。Google 等の検索サイトで「ロータリーの友」と検索するとロータリーの友のホームページがヒットしますので、そちらに移動して下さい。9月号の記事を閲覧するためには、ホームページにある「友」電子版ログインのボタンをクリックして下さい。「ログイン ID」と「パスワード」につきましては広報・史料委員会にご確認ください。



「ロータリーの友」HPの画面

◆ 伊藤幸司ガバナー補佐卓話

第2分区の状況を報告させていただきます。

先ず、海岸清掃プロジェクトは緊急事態宣言により9月26日に日延べになりました。方法及び当クラブの役割は変更有りませんので協力をお願い致します。当クラブは浅川社会奉仕委員長が実行委員として取りまとめを行うことになっておりますが、駐車場の誘導とメディアに対しての取材依頼です。取材依頼は植野会員がケーブルテレビ局に依頼済みと聞いております。駐車場誘導はバス8台、乗用車約200台が集合する予定ですので役割を決めてご協力をお願い致します。



公式訪問は4クラブが無事に終了いたしました。大洗RCと勝田RCは公式訪問として初めてZoom使用のWeb協議会となりましたが、ガバナーの配慮も有りスムーズにむしろお互いの会話ができた意味での中身の充実した協議会になりました。今後の新しい遣り方の一つとして取り組むことが出来そうです。今後も状況によりWebでの開催になることも考えております。

各クラブの例会開催の状況です。勝田、ひたちなかRCは12日或いは月末まで休会としていますが、那珂湊、常陸太田、大子、大洗は100%Zoomでの例会を開催しております。

クラブにより時間を変更して、皆さんが集まりやすい時間の夕刻に開始するクラブも有ります。私も数多く参加させて頂き、現状のお話をさせて頂いております。

補佐を拝命して2日月を経過しましたが、セクレタリーと会員皆様のご協力頂き、何とかこなしてはおりますので、今後ともご指導ご協力をお願い致します。

◆「海岸清掃」茨城新聞に掲載

茨城・下館 RC の新井さん提案 世界一斉に海岸清掃 9月12日 プラごみ汚染、一助に



© THE IBARAKISHIMBUN

各国の RC に世界同日の海岸清掃を呼び掛けた新井和雄ガバナー=筑西市伊佐山

9月12日を世界中で海岸清掃に取り組む日にしよう、茨城県内55のロータリークラブ(RC)を管轄する国際ロータリー第2820地区の呼び掛けが世界的な広がりを見せている。マイクロプラスチックの海洋汚染への関心が高まる中、身近な海岸の清掃で環境への意識を高めようとする茨城県 RC 関係者の提案に各国の RC が賛同し、世界的な取り組みに発展した。

呼び掛けたのは、下館 RC 所属で7月から2021-22年度の第2820地区ガバナーを務める新井和雄さん(59)。

今年2月にオンラインで開催した国際会議に参加した新井さんは、「ロータリー奉仕デー」として全世界で同じ日に地域住民と共に海岸清掃することを提案し、その場で約40地区から賛同を得た。

その後も反響は広がり、7月20日現在、約530地区のうち150地区が参加を予定しているという。海に面していない地域では湖沼や河川など水辺の清掃に取り組む。

茨城県海岸での清掃活動は、伊師浜(日立市)、阿字ヶ浦(ひたちなか市)、大洗サンビーチ(大洗町)、下津・平井(鹿嶋市)の4カ所で、約2千人の参加を見込んでいる。時間は午前10時から正午までの2時間。それ以外の場所での個人やグループでの参加も可能で、事前に特設サイトから参加登録する。荒天時は9月26日に延期する。

今回の活動に併せて「未来に引き継ぎたい自然風景」のテーマで写真コンテストも募集している(8月31日締め切り)。

RC 関係者が世界規模で同じ日に行動を起こすのは 116 年の歴史でも初めてという。

新井さんは「前年度の池田正純ガバナーの時から温めてきた企画で、反響が大きかったのは気候変動による自然災害や海洋汚染への関心が世界的に高まっている証拠だと思う。身近な海岸のごみ拾いをきっかけに、参加者一人一人が地球全体の環境を考えるようになってほしい」と話している。

<出典：2021 年 8 月 9 日付茨城新聞>

◆ 会合報告

◆ 勝田ロータリークラブガバナー公式訪問 メークアップ参加

日 時：2021 年 8 月 20 日 12:00～13:30

場 所：WEB 例会

主催者：勝田ロータリークラブ 大津宣明会長

出席者（順不同、敬称略）：伊藤幸司ガバナー補佐、厚見和則セクレタリー

議 事：

- 事前協議
- ガバナー公式訪問

新井和雄ガバナー卓話

各委員会報告およびガバナーコメント

次回例会：9月22日（水）18：30～

納涼例会（ホテルテラスザガーデン水戸）

例会を欠席する時は、必ず前日 12:00 までに事務局まで連絡のこと

クラブ会報委員会：委員長 橋本和一郎／副委員長 厚見和則／委員 富永康修、大久保賢二